

令和 3 年度 後期

宇都宮市民大学

募集
期間 **7/30(金)~
8/10(火)**

専門講座

I 郷土を愛する 「宇都宮学」コース

- 1 宇都宮を流れる鬼怒川の
昔と今 1
～鬼怒川物語～
- 2 わざわい来るな 2
～とちぎの災害にまつわる風習・信仰～

II 今を読み解く 現代社会コース

- 3 おとな世代の「ころろ」
と人間関係 2
- 4 帝京大学で学ぼう!
最先端研究紹介セミナー . 3
(帝京大学連携講座)
会場：帝京大学宇都宮キャンパス

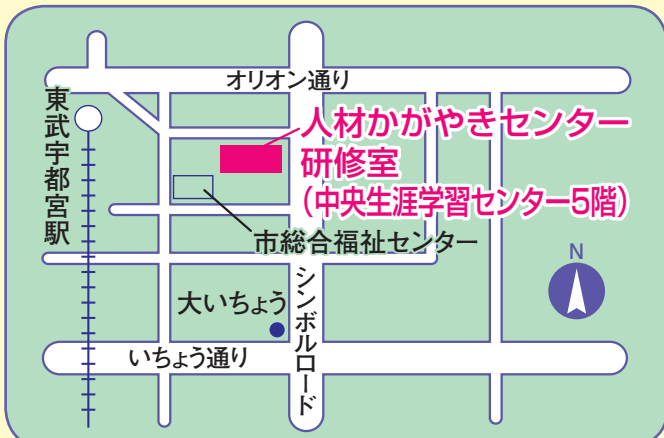
III 暮らしを彩る 文化・教養コース

- 5 どうやって生まれた?
動物たちのスゴ技 . . . 3
～生き物たちの進化とサバイバル
戦略を謎解く～
- 6 ここが変わる!
日本の縄文時代 4
～8,000年前の日本にすでに豊かな
物質文化と精神文化が存在していた～
- 7 鬼先生の人間探検講座 . 4
～文化人類学の目で
人類最大の謎に迫ってみよう～

- 主催 / 宇都宮市 宇都宮市教育委員会
- 実施 / 宇都宮市民大学運営協議会

【重要なお知らせ】

- 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お申し込みの際は、「感染症対策へのご理解とご協力をお願い」(P 1)を必ずご確認ください。
- 新型コロナウイルス感染症や災害等の影響で、やむを得ず、開催を中止、または内容を変更する場合があります。



お問い合わせ・お申し込み先

宇都宮市民大学事務局 (人材かがやきセンター内)
〒320-0806 宇都宮市中央1-1-13
(中央生涯学習センター4階)
TEL : 028-632-6332 (お問い合わせのみ)
FAX : 028-632-6336
Mail : college@city.utsunomiya.tochigi.jp

会場アクセス

(人材かがやきセンター研修室)

- 東武宇都宮駅から徒歩5分
 - 関東バス・JRバス関東「県庁前」下車、徒歩5分
 - 市内循環バス「きぶな」で「総合福祉センター前」下車
- ※ 駐車場には限りがございます。

※帝京大学 宇都宮キャンパスへのアクセスについては、裏表紙をご覧ください。

感染症対策へのご理解とご協力をお願い

受講上のごお願い

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止へご協力をお願いします。

※ワクチン接種後も、ご協力をお願いします。



注意 マスクは着用必須(各自で準備)

密集
の防止

●すべての専門講座 定員は30名

密接
の防止

●座席は指定

●人と人との距離を確保して実施

密閉
の防止

●30分に1回は換気

※上着やひざ掛け等の寒さ対策をお願いします。

その
ほか

●消毒用アルコールによる手指消毒、
こまめな手洗い・うがい

(2) 当日、朝の検温・体調のチェックをしてください。

講座当日は検温し、発熱やだるさなど体調に不安がある場合には、ご出席をお控えください。

※激しい咳が続くなどの場合は、ご退室いただくことがあります。

その他

- 万一、講座開催期間中に受講者等の新型コロナウイルス感染が認められた場合、必要に応じて受講者の皆様へご連絡いたします。緊急連絡名簿の作成のため、氏名・住所・電話番号等の情報提供にご協力ください。
- ※保健所の求めに応じて、受講者の情報(氏名・住所・電話番号等)を提供する場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を中止、または内容を変更する場合がございます。
- 体調不良等で講座への出席が困難になった方は、必ず市民大学事務局までご連絡ください。
- 新型コロナウイルス感染症に関連して、人権に配慮した冷静な行動をお願いします。

専門講座 I 郷土を愛する「宇都宮学」コース

企画：講座企画・運営ボランティアスタッフ「ともしび」

1

宇都宮を流れる鬼怒川の昔と今

～鬼怒川物語～



概要

鬼怒川は、その舟運しゅうんにより近世では江戸と下野の間で、文化や物資の交流をもたらし、渡河地点は宿場としての賑わいもみせましたが、ひとたび荒れ狂うと河岸浸食や流路変更など、人々に甚大な被害も発生させました。本講座では、近世から現代までの鬼怒川の歴史を振り返り、人々の知恵や努力、暮らしの中で培われた文化について学びます。故郷の風景の中に堂々と流れる鬼怒川の「物語」を、ひも解いてみませんか。

会場

人材かがやきセンター研修室
(中央生涯学習センター5階)

期間

9月7日～10月19日の火曜日
午前10時～正午

定員

30名


受講料

3,500円

| 回 | 期日 | 学習テーマ | 講師 | 学習方法 |
|---|-----------------|---------------------------------------|------------------------------|------|
| 1 | 9月7日 (火曜日) | 五十里洪水 ～氏家・宇都宮地域を中心に～ | 宇都宮市文化財保護審議委員会 委員 大嶽 浩良 氏 | 講義 |
| 2 | 9月14日 (火曜日) | 近世の河岸を探る。阿久津・板戸・道場宿河岸 ～川が運ぶもの～ | | |
| 3 | 9月21日 (火曜日) | 近世における鬼怒川の利用 ～渡河地点白沢、逆木・市の堀用水～ | | |
| 4 | 9月28日 (火曜日) | 流域における大規模開墾と明治35年洪水 ～宇都宮地域を中心に～ | | |
| 5 | 10月5日 (火曜日) | 田中正造の鬼怒川調査 ～氏家・宇都宮地域を中心に～ | | |
| 6 | 10月12日 (火曜日) | 今日の鬼怒川 ～河川利用の変化と利水、上流・中流域の頭首工を中心に～ | | |
| 7 | 10月19日 (火曜日) | 鬼怒川の漁と鮎のくされ鮠 | | |

2 わざわい来るな

～とちぎの災害にまつわる風習・信仰～



概要 古来疫病や災害などは、疫病神をはじめ厄神がもたらすものとされ、その疫病除けや災害除けには霊験あらたかな神社のお札や人形、道祖神などを集落境に飾り、集落への侵入を防ぎました。ふるさとに伝わる様々な厄除けの風習を民俗学の視点から学んで、潤いある生活の知恵としませんか。

会場 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター5階) 第7回のみ市総合福祉センター9階

期間 9月10日～10月22日の金曜日 午前10時～正午

定員 30名

受講料 3,500円

| 回 | 期 日 | 学 習 テ ー マ | 講 師 | 学習方法 |
|---|-----------------|---|--------------------------|------|
| 1 | 9月10日 (金曜日) | とちぎの疫病の歴史と風習・信仰 | 栃木県立博物館 名誉学芸員 柏村 祐司 氏 | 講義 |
| 2 | 9月17日 (金曜日) | 牛頭天王に託した疫病除けの願い ～二荒山神社・八坂神社のお天王さんの祭りより～ | | |
| 3 | 9月24日 (金曜日) | 黄ぶなに託した願い ～疱瘡神への願いと祭り～ | | |
| 4 | 10月 1日 (金曜日) | 古文書に見る疱瘡除けのまじない ～旧家に残る疱瘡神文書より～ | | |
| 5 | 10月 8日 (金曜日) | 恐ろしくも、ありがたくもある栃木の雷様 ～平出の雷電神社に見る雷神信仰を中心として～ | | |
| 6 | 10月15日 (金曜日) | 火伏の風習と信仰 ～防火の工夫と愛宕山・古峰ヶ原信仰～ | | |
| 7 | 10月22日 (金曜日) | 風水害への備えと信仰 ～水塚の構築と二百十日の風祭り～ | | |

3 おとな世代の「こころ」と人間関係



概要 誰もが豊かな「こころ」で人と関わりながら、長生きしたいと願っています。本講座では、加齢による感覚機能の変化など「こころ」について心理学的視点で捉え、心身機能にどのような影響や変化を与えるかを考えます。より良い高齢期を迎えるために、日々の生活に実践できるコミュニケーション術について学んでみませんか。

会場 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター5階) 第6回のみ市総合福祉センター9階

期間 9月9日～10月28日の木曜日 午前10時～正午

定員 30名

受講料 3,500円

| 回 | 期 日 | 学 習 テ ー マ | 講 師 | 学習方法 |
|---|-----------------|----------------------------------|----------------------------------|------|
| 1 | 9月 9日 (木曜日) | 成人の学習者の特質(おとなの学び) ～高齢者の学習の意義～ | 一般社団法人とちぎ市民協働研究会 代表理事 廣瀬 隆人 氏 | 講義 |
| 2 | 9月16日 (木曜日) | 私たちの「思い込み」をふりかえる ～反省的思考への訓練～ | | |
| 3 | 9月30日 (木曜日) | 高齢期における心身の変化の影響と家族関係 | 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 杉本 太平 氏 | |
| 4 | 10月 7日 (木曜日) | おとな世代のストレスと怒りのコントロール | 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 土沢 薫 氏 | |
| 5 | 10月14日 (木曜日) | 楽しい関係づくりのためのコミュニケーションの試み | 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 月橋 春美 氏 | |
| 6 | 10月21日 (木曜日) | コミュニケーション能力向上のためのコミュニケーションの手法 | 宇都宮共和大学 子ども生活学部 教授 杉本 太平 氏 | |
| 7 | 10月28日 (木曜日) | 高齢期の人間関係トラブルの解決方法 ～事例から学ぶ～ | | |

4 帝京大学で学ぼう！最先端研究紹介セミナー



概要 帝京大学理工学部の工学系3学科〔機械・精密システム工学科、航空宇宙工学科、情報電子工学科〕の教員による専門的な研究分野を分かりやすくオムニバス形式で開講します。

各回において、特色ある先端機器等の施設設備の見学も含め、皆様に楽しく学んでいただけるよう、準備しております。緑に囲まれ広々としたキャンパスで、学生気分を味わってみませんか。

会場 帝京大学宇都宮キャンパス (豊郷台1-1) **期間** 9月10日～10月15日の金曜日 午後2時～午後4時 **定員** 30名 **受講料** 3,300円(保険料300円を含む)
 ※会場案内図等は、裏表紙をご覧ください。

| 回 | 期日 | 学習テーマ | 講師 | 学習方法 |
|---|-----------------|------------------------------------|----------------------------------|-----------|
| 1 | 9月10日 (金曜日) | ドローンから始まる電気飛行機の未来 | 帝京大学 航空宇宙工学科 教授 米田 洋 氏 | 講義 ※見学 |
| 2 | 9月17日 (金曜日) | 現在の自動化生産システム | 帝京大学 機械・精密システム工学科 准教授 大野 威徳 氏 | |
| 3 | 9月24日 (金曜日) | ヴァイオリンの音色と構造について | 帝京大学 機械・精密システム工学科 准教授 黒沢 良夫 氏 | |
| 4 | 10月 1日 (金曜日) | 自律型ロボットの設計製作と小中高生がチャレンジするロボコン世界大会 | 帝京大学 情報電子工学科 教授 蓮田 裕一 氏 | |
| 5 | 10月 8日 (金曜日) | 日本の産んだ血中酸素飽和度計測装置パルスオキシメータと生体計測最前線 | 帝京大学 情報電子工学科 教授 小川 充洋 氏 | |
| 6 | 10月15日 (金曜日) | 県民参加型の超小型人工衛星開発を目指す | 帝京大学 航空宇宙工学科 准教授 河村 政昭 氏 | |

専門講座 III 暮らしを彩る文化・教養コース

企画：講座企画・運営ボランティアスタッフ「中八連」

5 どうやって生まれた？動物たちのスゴ技

～生き物たちの進化とサバイバル戦略を謎解く～



概要 キリンの首やゾウの鼻は、なぜ長くなったのか？ペンギンは、なぜ空を飛ぶのをやめたのか？クジラはなぜ海に戻ったのか？弱肉強食の生き物たちの世界は、並大抵の技では生き抜けない。野生の生き物たちの、あの手この手の…超絶サバイバル術！驚きのスゴ技を、いかにして身につけたのか？生き物たちの個性豊かなスゴ技を紹介するとともに、生き物たちの不思議な行動を追跡します。進化の過程をさかのぼって、その謎を探ってみましょう！

会場 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター5階) **期間** 9月6日～10月25日の月曜日 午前10時～正午 **定員** 30名 **受講料** 3,500円

| 回 | 期日 | 学習テーマ | 講師 | 学習方法 |
|---|-----------------|--|---------------------------|------|
| 1 | 9月 6日 (月曜日) | キリンの首やゾウの鼻は、なぜ長い？ ～適応戦略の違いが進化を変える～ | 元 気象庁気象研究所 研究部長 緑川 貴 氏 | 講義 |
| 2 | 9月13日 (月曜日) | かわいいだけじゃないペンギン ～なぞの行動とそのスゴ技～ | | |
| 3 | 9月27日 (月曜日) | その昔、人間より大きなペンギンがいた？ ～ペンギン族の興亡と仲間たち～ | | |
| 4 | 10月 4日 (月曜日) | クジラの先祖は、陸上を四本足で歩いていた？ ～海に戻った謎～ | | |
| 5 | 10月11日 (月曜日) | 南極海・北極海のふしぎワールド ～過酷な環境を生き抜くツワモノたち～ | | |
| 6 | 10月18日 (月曜日) | 南極から日本に毎年やって来るのは、だれ？ ～渡りと回遊のふしぎ～ | | |
| 7 | 10月25日 (月曜日) | 地球の大変動を生き抜いた動物たち ～絶滅を免れた理由とは？～ | | |

6 ここが変わる！日本の縄文時代

～8,000年前の日本にすでに豊かな物質文化と精神文化が存在していた～




概要 「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界文化遺産に登録されるなど、縄文時代が注目を集めています。宇都宮市内でも昭和61年に縄文前期の大集落（「根古谷台遺跡」）の発見がありました。
本講座では、縄文人の遺跡から見えてくる、衣・食・住のみならず、信仰や文化、また交易などについても考察します。「豊かな縄文人」の暮らしに思いを馳せてみませんか。

会場 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター5階) **期間** 9月6日～10月25日の月曜日 午後2時～午後4時 **定員** 30名 **受講料** 3,500円

| 回 | 期 日 | 学 習 テ ー マ | 講 師 | 学習方法 |
|---|-----------------|-------------------------|--|------|
| 1 | 9月 6日 (月曜日) | 石器から学ぶ伝統技術 ～生活とその用具①～ | 元 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター 副所長 芹澤 清八 氏 | 講義 |
| 2 | 9月13日 (月曜日) | 土器の時代の始まりと変化 ～生活とその用具②～ | 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター 副主幹 塚本 師也 氏 | |
| 3 | 9月27日 (月曜日) | 生活と文化 ～食料の獲得～ | | |
| 4 | 10月 4日 (月曜日) | 生活と文化 住居の変化 ～集落と住居跡～ | 公益財団法人とちぎ未来づくり財団 埋蔵文化財センター 主任 後藤 信祐 氏 | |
| 5 | 10月11日 (月曜日) | 埋葬と信仰 ～土偶・土版・土面の不思議～ | 大田原市なす風土記の丘湯津上資料館 館長 上野 修一 氏 | |
| 6 | 10月18日 (月曜日) | 生活の中の精神文化 | | |
| 7 | 10月25日 (月曜日) | 縄文時代人はどう生きたか？ ～交易と文化圏～ | | |

7 鬼先生の間人探検講座

～文化人類学で人類最大の謎に迫ってみよう～



概要 なぜ正月はめでたいの？なぜ裸は恥ずかしいの？そんな「当たり前」に取敢えて注目し、文化人類学理論を武器にすれば難問も解決です。「楽力(楽しむ力)向上」「やわらかあたま」を目指して、「チョコちゃんに叱られる！」などメディアでおなじみ「鬼先生」の知的探検を体験してみませんか！

会場 人材かがやきセンター研修室 (中央生涯学習センター5階) **期間** 9月7日～10月26日の火曜日 午後2時～午後4時 **定員** 30名 **受講料** 4,000円

| 回 | 期 日 | 学 習 テ ー マ | 講 師 | 学習方法 |
|---|-----------------|------------------------------|-----------------------------|------|
| 1 | 9月 7日 (火曜日) | 鬼先生の楽問ノススメ 「汚い」って、なに？ | 江戸川大学名誉教授 文化人類学者 斗鬼 正一 氏 | 講義 |
| 2 | 9月14日 (火曜日) | 「恥ずかしい」「服を着る」「制服」「髪型」って、なに？ | | |
| 3 | 9月21日 (火曜日) | 「食べる」「料理」「ゲテモノ」って、なに？ | | |
| 4 | 9月28日 (火曜日) | 外来食の受け入れ方から見える日本人、日本文化とは？ | | |
| 5 | 10月 5日 (火曜日) | 「超芸術トマソン」「珍百景」「変な人」が変なのは、なぜ？ | | |
| 6 | 10月12日 (火曜日) | 文化人類学の視点で身の回りの動物たちを見てみよう | | |
| 7 | 10月19日 (火曜日) | 文化人類学の視点で風水都市の京都・鎌倉を探検しよう | | |
| 8 | 10月26日 (火曜日) | 文化人類学の視点で「千と千尋の神隠し」の世界を探検しよう | | |

